

算数科学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

〇〇〇小学校

3年〇組 (〇名)

授業者 〇〇 〇〇

<単元・題材名> かけ算の筆算 (2)		<学習指導要領上の位置づけ> A 数と計算 (3) ア イ ウ	
<育成を目指す資質・能力> ○既習事項を基に新しい計算を考えることよさに気付き、学習に生かそうとする態度 ○数の構成や既習事項を基に考察する力 ○乗法の計算をする技能 ○乗法の計算についての理解			
<単元の目標> ○2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。			
評価 規 準	関心・意欲・態度	2～3位数×2位数の筆算の仕方について、2～3位数×1位数の計算を基にできることよさに気づき、学習に生かそうとしている。	
	数学的な考え方	2～3位数×2位数の筆算について、数の構成や既習の乗法計算を基に考え、表現したりまとめたりしている。	
	技能	2～3位数×2位数の乗法の計算が確実にできる。	
	知識・理解	2～3位数×2位数の乗法の計算について理解している。	
児童 の 実 態	(省略)		
指 導 方 針	○問題を提示する場面を工夫することにより、児童から問いを引き出し、主体的に取り組めるようにする。 ○数学的な考え方を身に付けさせるために、既習の学習内容を根拠に、本時の問題を解決できるようにする。そのために掲示物で児童が既習の学習内容を確認できるようにしておく。また、個別の追究で児童から出た考えを、区切りながら複数の児童に説明させたり、別の児童に説明させたりする活動を取り入れ、児童同士の思考につながりをもたせながら全体で共有できるようにする。さらに、複数の考えを比較・検討する中で、気付きを深めていく。 ○本時の学習を通して「何ができるようになったのか」、「何をどのように学んだのか」、「どんな場面で生かせるのか」という振り返りを行うことで、問題の解決方法や学習したことよさを考えられるようにする。		

単元計画

過 程	時 間	ねらい	評価			
			関	考	技	知
であ う	1	何十をかける乗法の計算の仕方を考え、その計算ができるようにするとともに、2位数をかける乗法について問いを持つことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">単元の課題：2けたをかけるかけ算はどう計算するのだろうか。</div>		○		
	2					
追 究 す る	3	2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし）の計算の仕方を考え、説明することができる。（本時）		○		
	4	2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。			○	
	5	2位数×2位数（部分積が2、3桁で繰り上がりなし、あり）の計算の仕方を考え、その計算ができる。			○	
つ か う	6	2位数×2位数（乗数の末尾に0がある）の簡便な計算の仕方や、1位数×2位数の計算は乗法の交換法則を用いても計算できることを理解する。				○
	7	既習事項を活用して3位数×2位数の筆算の仕方を考え、その計算ができる。				
	8		○		○	

本時の展開（3／8時間）

ねらい：2位数×2位数の計算の仕方について既習事項を基に考え、説明することができる。

準備	既習事項の掲示物	
時間	学習活動 (発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点及び支援 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
8分	<p>1. めあてを設定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【問題】1まい12円の工作用紙を□まい買います。 代金はいくらですか。</p> </div> <p>T：20枚だと式は？ S：12×20で、240円です。 T：23枚だと式は？ S：12×23です。 T：どうして12×23になるの？ S：1枚12円の紙を23枚買うからです。 T：昨日の計算と何が違うかな。 S：かける数が何十じゃない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】12×23の計算のしかたを考えよう。 (かける数に0がない2けたどうしのかけ算の計算のしかたを考えよう。)</p> </div> <p>T：どうしたら計算できるかな。 S：図や今まで習った計算を使えばできそう。</p>	<p>○はじめに「12×20」の計算を考えさせることで、既習事項の想起につなげる。</p> <p>○テープ図や言葉の式を用いて、かけ算の式で求められることを確認する。</p> <p>○前時との違いに気付かせ、本時の学習意欲を高める。</p> <p>○児童の発言を聞きながら、めあてを設定する。</p>
5分	<p>2. 個別に追究する (予想される考え)</p> <p style="margin-left: 20px;">〈考え方〉</p> <div style="margin-left: 40px;"> <p>A $12 \times 20 = 240$</p> <p style="margin-left: 20px;">12×23</p> <p style="margin-left: 40px;">$12 \times 3 = 36$</p> <p style="margin-left: 60px;">合わせて 276</p> </div> <p>B ⑫⑫⑫⑫⑫⑫⑫⑫⑫⑫ ⑫⑫⑫</p> <p style="margin-left: 40px;">$12 \times 20 = 240$円</p> <p>C ⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩⑩ ①①①①①①①①①① ①①①①①①①①①①</p>	<p>○既習事項を振り返ることができるように、2桁×1桁や2桁×2桁（10の倍数）の計算の仕方を掲示しておき、本時の計算の仕方をイメージしやすくする。</p> <p>○式を分けて計算する児童が多いことが予想されるため、早く解き終わった児童には、図でも考えさせる。</p> <p>◎解決の一部を板書させ、戸惑っている児童が参考にできるようにする。</p> <p>また、教師から図の一部も示し、参考にできるようにする。</p>
15分	<p>3. 全体で共有する。</p> <p>T：どのように計算したかな。 S：(B) 12円が20枚で240円、12円が3枚で36円。 T：答えは36ですか。 S：合わせて276円です。 S：(A) まずは23を20と3に分けます。 S：12×20は240です。 S：12×3は36です。 S：240と36を合わせて276になります。 T：なぜ合わせるの。 S：はじめに23を20と3に分けたからです。</p>	<p>○一人の気付きを基に他の児童も気付けるように、区切って発表させる。</p>

<p>5分</p>	<p>4. 考えを深める</p> <p>T : どんなことに気付いたかな。</p> <p>S : 習った計算を使っている。</p> <p>S : 20と3に分けて計算している。</p> <p>T : 20と3に分けているというのは、図のどこのことかな。</p> <p>S : 他の2けたの計算も同じやり方をすればできそうだな。</p> <p>S : かける数を分けて計算をし、その答えを足しているところが似ている。</p> <p>S : かけられる数を分けても計算できるかな。</p>	<p>○図と式を関連づけられるように問い返す。</p>
<p>1分 2分</p>	<p>5. 学習をまとめる</p> <p>T : どのようにしたら 12×23 の計算ができたかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 かける数を分けて計算すれば、答えを求められる。</p> </div> <p>6. 適用問題に取り組む</p> <p>12×34 の計算の仕方を説明しよう。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> $\begin{array}{r} 12 \times 34 \\ \quad \quad \quad \diagup \quad \quad \quad \diagdown \\ \quad \quad \quad 12 \times 30 = 360 \\ \quad \quad \quad 12 \times 4 = 48 \\ \quad \quad \quad \text{合わせて } 408 \end{array}$ </div> <p>7. 振り返る</p> <p>S : 分けて計算すればいいんだな。</p> <p>S : 数が大きい時はどうなるのかな。何か良い方法はないかな。</p> <p>S : 筆算ができないかな。</p>	<p>○学習のまとめは児童の発言を生かして板書する。</p> <p>○説明の仕方に慣れさせるために、ペアで説明し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇評価</p> <p>既習事項を用いて2位数×2位数の計算の仕方を説明している。 〈発言・ノート〉【数学的な考え方】</p> </div> <p>○次時の筆算の学習につなげられるように、簡単な方法で計算ができないか投げかけ、問いを引き出す。</p>